

情報セキュリティ基本方針

扶桑化学工業グループは、社会に安全で高品質な製品を提供し、豊かな未来の創造に貢献しております。当社は、業務上取り扱う重要な情報資産を保護することが、社会的責任の一環であると認識し、以下の基本方針に基づき情報セキュリティの確保に取り組みます。

1. 情報セキュリティ管理体制の確立

情報セキュリティに関する責任を明確にし、全社的な管理体制を整備します。情報セキュリティ管理体制のもと、全社員が一丸となって情報資産を適切に管理・保護します。

2. 情報資産の保護

扶桑化学工業グループ行動規範にもとづき、顧客情報、技術情報、研究開発データ、製造プロセス情報など、業務上取り扱う全ての情報資産を適切に管理し、不正アクセス、漏洩、改ざん、紛失、破壊などのリスクから保護します。

3. 情報セキュリティに関する教育

従業員および関係者に対して、情報セキュリティに関する教育・訓練を定期的 to 実施します。これにより、全員が情報セキュリティの重要性を理解し、高い意識を持って行動することを促進します。

4. 情報セキュリティ対策の継続的改善

情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を導入し、定期的な評価と見直しを行うことで、情報セキュリティ管理体制の継続的な改善を図ります。

5. サプライチェーンの安全確保

サプライチェーン全体における情報セキュリティリスクを考慮し、サプライチェーン上のあらゆる情報資産を適切に保護します。

扶桑化学工業グループは、本基本方針に基づき、情報セキュリティの確保に全力で取り組み、社会ならびにお取引様からの信頼に応える企業であり続けます。

制定日：2025年5月17日

扶桑化学工業株式会社

代表取締役社長 杉田 真一